

令和5年度 江戸川区立宇喜田小学校 学校関係者評価 最終評価報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ子 ・やさしい子 ・元気な子 	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を見付け学び、思考力・判断力・表現力・想像力のある児童を育成する ・人や自然とかわりながら、感動する心、協調と思いやりの心を育成する ・友達と互いに励まし合いながら、しなやかにたくましい心と体を育成する
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> ・算数科の校内研究を行い、授業の内容が分かりやすいという回答92%を得た。指導力の向上を目指して今後も取り組んでいく。 ・専門員やSC等の外部機関と連携を図りながら、共生社会の実現に向けて支援を行うことができた。 ・なかよし班活動を通して学校全体での異年齢集団での交流を深めることができた。	<課題> ・基礎基本の定着を目指し、自主学習や補習等組み合わせながら学力向上につなげていく。 ・学習用タブレット端末を活用し、探究的な学習や協同的な学習を進めていく。 ・自分の思いをしっかりと伝え、互いの考えを認め合えるようにする。	

教育委員会重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価	来年度に向けた改善策	
				取組	成果			
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間における個で考える時間の設定 ・1日1回以上のペアやトリオ、グループによる「学び合い」の学習活動設定 ・補習時間(朝学習・放課後)の確保、家庭学習習慣の確立 ・ICT機器を活用した授業の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容が分かりやすい(児童アンケート 肯定的回答90%) ・話し合いや学び合いの学習に積極的に取り組む態度(児童アンケート 肯定的回答80%) ・学期末まとめワークテスト平均(国算理社)(80%) ・東京ベーンシッドドリル診断テスト合格(80%) 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も子供たちにとって分かりやすい授業をお願いします。 ・確かな学力の向上を目指して、ICT機器の活用を大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践を積み重ねながら研修等を行い、学び合いの場面におけるICT機器の活用方法を、学校全体へ広げていく。 ・ドリルパークの活用や補習教室を継続し、つまずきの見られる単元の復習を行い、学習習慣を身に付けていく。 ・朝学習等を利用して、東京ベーンシッドドリルの理解の不十分な問題に取り組ませていく。 ・整頓する場所を決め、子供たちが授業に集中できる教室環境の整備をする。 ・「話の聞き方」「ノートの取り方」等、学習規律を徹底する。 ・「毎日1回実施」「1週間60分の実施」を目標としてドリルパークを活用し、基礎学力の定着を図る。 	
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年年間指導計画に基づく探究的な学習の設定 ・計画的な読書ノートの活用 ・学校図書館を使用した調べ学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習の計画的な実施(100%) ・読書科ノートを活用した学習の実施(教員アンケート80%) ・学校図書館や学習用タブレットを活用して調べ学習の実施(児童アンケート肯定的回答80%) 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も、学習用タブレットを活用した調べ学習を進めてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書科ノートの活用方法の共通理解を図っていく。 ・学校図書館と学習用タブレット、それぞれの良さを生かしながら、今後も指導していく。例えば、調べ学習段階では、本を活用し、発表に向けてタブレット端末を活用する。 ・昼休みを活用した図書室の利用を、これまで以上に促す。 	
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上>	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間における運動量の確保 ・鉄棒、持久走、縄跳びなど運動遊びの充実 ・25分休みの外遊び、クラス遊びの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで体育に取り組む態度(児童アンケート肯定的回答85%) ・各カードの達成率(80%) ・すすんで外遊びに取り組む児童(児童アンケート肯定的回答85%) 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの体を動かすことが好きな子供を育ててほしい。引き続き、鉄棒や持久走、縄跳びなどの運動を続けるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で「めあて」を明確にし、少しでもできたことを認めながら、すすんで体を動かすことが楽しいと感じるようにしていく。 ・各カードについては、児童がより一層主体的に取り組むようになるように工夫する。 ・体力テストで前年度の数値が低い種目を授業において重点的に指導する。 ・なわ跳びチャレンジにおける目標回数を設定し、基礎体力の向上を図る。 ・大なわ1分間(低)60回(中)90回(高)120回。 	
	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副都立、交流及び共同学習の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の生活指導夕会の実施 ・月1回の校内委員会、ケース会議、研修の実施 ・保護者、外部機関等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮、支援を要する児童の把握と共通した対応の実施(100%) ・配慮児童への支援(100%) ・必要に応じた保護者面談の実施(100%) 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なお子さんがいて大変だと思いますが、一人一人にお子さんに応じた対応をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、SCやSSW、教育相談等、外部機関と連携しながら、適切な支援が行えるようにする。 ・外部機関に関する情報を、積極的に保護者に伝える。 ・整った教室環境を、各自で意識しながら維持する。 	
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hyper-QUの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導連絡協議会の活用(毎週の生活指導夕会における情報共有) ・いじめに関するアンケート、授業年3回の実施 ・配慮児童の保護者との面談実施 ・不登校の組織的対応、対策委員会の定期的開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導夕会の実施(100%)といじめ問題解決(100%) ・アンケート・授業の実施と確実な対応(100%) ・配慮児童との保護者面談(100%) ・計画的な開催と対応実施(100%) 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の登校の様子を見ていると、低学生の挨拶が出てきている。引き続き、今の努力をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して学校全体で連携を図り、いじめの未然防止、早期発見、素早い対応を行っていく。 ・引き続き、配慮児童保護者との面談を行い、早期解決に努める。 ・「TPOに応じた言葉遣い」や「自分と他人はちがう」という人権に配慮した指導を丁寧に行う。 	
	<自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校(園)ホームページの充実等 ・学校(園)公開の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・HPや学校便りによる周知 ・体育学習発表会、年4回の学校公開の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP更新週6回以上 ・年間4回の確実な実施と参観人数に制限を設けない公開 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・HPを各学年、週1回程度更新することができた。時期によりHP更新の偏りが見られた。 ・参加人数に制限を設けない学校公開を実施することができた。アンケートは、肯定的な意見が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、前と同じような学校公開を参観することができ、子供たちの元気な姿を見ることができました。来年度もよろしくお願ひします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に学校の様子が伝わるように、週1回更新する。 ・来年度も学校への理解を深めてもらうために、積極的に学校公開を実施していく。
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体への周知 ・教職員、児童、保護者、外部評価の実施 ・中間評価と年度末における評価を基にした改善策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPやtetoruでの適切な配信の実施 ・外部評価「教育アンケート」の確実な実施と肯定的回答A+B合わせて80% ・評価を基にした教育課程の改善 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・tetoruを活用し、学年便り、学年会計、お知らせ等の情報を発信することができた。 ・アンケートフォームを用いた繰り返しの呼び掛けにより、保護者の声を集められた。 ・外部評価「教育アンケート」の確実な実施と肯定的回答A+B合わせて73%だった。ICT機器を使用した授業や表現する力、家庭学習の定着の回答が低い数値であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員会を通して、学校の様子を知ることができました。ありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・tetoruを活用した情報の発信機会を増やしていく。 ・ICT機器を活用した授業展開を学校全体に広げながら、児童の表現力、基礎学力向上につながる家庭学習の習慣の定着を図る。
	異年齢集団によるなかよし班活動	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休みと掃除の時間を使用した6年生を中心とした「なかよし班活動」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし班活動に楽しさを感じる児童(児童アンケート)80% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生が中心となって計画・立案し、楽しく活動することができた。なかよし班活動に楽しさを感じる児童(児童アンケート)は、91%だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢集団の交流は、低学年にとっても、高学年にとっても、お互いに良い経験だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他学年とのつながりをより一層深められるように、6年生を中心として内容の工夫をし、異年齢での和やかな雰囲気作りを促す。
特色ある教育の展開	地域連携教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学年単位での学期1回の取組 ・開校40周年記念式典の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的学びや交流の楽しさを感じる児童(児童アンケート)80% ・計画的な地域・外部との連携した取組(100%) 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いた体験的な活動を学期1回以上実施することができた。児童の学びを深めることにつながった。体験的な学びや交流の楽しさを感じる児童(児童アンケート)は、86%だった。 ・開校40周年記念式典では、5・6年生が児童代表として参加し、所作について学ぶとともに、代表の役割を果たすことができた。1～4年生も児童集会で出し物を通して、学校への愛着を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度もよろしくお願ひします。 ・開校40周年記念式典のアクションは素晴らしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味関心を高められるような体験的活動を精選し、実施していく。 ・周年行事のみならず、今後も地域との連携を大切にしていきたい。 ・ゲストティーチャー等の人材を活用した教育の推進を行う。 ・うきうきタイムや放課後補習教室による個別指導を充実させる。 ・四季の変化を感じられる自然豊かなうきうきの森を活用した情操教育を充実させる。(自然の中で遊ぶ、生活科・理科の学習で季節を感じる。)